

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

	1. 事務事業の現状把握（その1）	
	(1) 事務事業の概要	
手 段	①事務事業の概要（事務事業の全体像）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	障害者に対する障害福祉（介護給付）サービスの必要性を明らかにするために、当該障害者等の心身の状態を総合的に示し、認定審査会により障害状況の調査結果（一次判定）と特記事項、医師意見書等を総合的に判断し、障害支援の区分を6段階に分類する判定を行う。毎月1回の審査会を開催している。審査会委員5名。 区分の有効期間は最長36か月間であるため、概ね3年に一度更新する。	【担当者が行う業務の手順】審査会運営（審査会委員への審査会開催通知の送付、審査会関係資料の作成、決定通知の送付、審査会委員への報酬支払い）、県主催研修会参加者とりまとめ、県主催研修会参加。【事業費の内訳】報酬（審査会委員報酬）・旅費・手数料・食料費・印刷物類・燃料費

①手段 （担当者の活動内容）	④活動指標 （活動量を表す指標）	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
平成28年度 審査会開催 毎月1回、12回の開催 審査件数72件	開催回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	0.00
	審査件数	件	103.00	72.00	72.00	72.00	72.00
	研修会参加回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 （誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標 （対象の大きさを表す指標）	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
サービスを必要とする障がい者	サービスを必要とする障がい者数	人	298.00	2,728.00	2,728.00	2,728.00	2,728.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 （この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標 （対象における意図の達成度を表す指標）	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
障害支援区分の公平・公正な審査を受けることができる。	審査件数	件	103.00	72.00	72.00	72.00	72.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	826	0	0	0		0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	1,543	908	2,130	2,130	2,130	0
			事業費計（A）	千円	2,369	908	2,130	2,130	2,130	0
	人件費	正規職員従事人数	人	4.00人	4.00人	4.00人	4.00人	4.00人		
		述べ業務時間	時間	1,016.00	606.00	0.00	0.00	0.00		
		人件費計（B）	千円	2,947	1,758	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)			千円	5,316	2,666	2,130	2,130	2,130		

[illegible]

31年度の事業内容



事務事業名	障害者介護支援区分審査会運営事業	事務事業No.	20403000491	所属課	社会福祉課
-------	------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
平成19年度からの障害者自立支援法の施行に伴い開始した。平成25年度より障害者総合支援法に変わり継続して実施している。福祉サービス利用者が、サービスを利用するにあたり、障害の支援を区分する上で審査が必要であり、毎月審査を行っている。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
特になし	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
現状維持	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	☒ 結びついている 障害者総合支援法に基づき実施しており、障がい者の自立支援に結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
☒ 妥当である 障害者総合支援法に基づき実施しており、公共関与は妥当である。	
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	☒ 向上余地がない 障害者総合支援法に基づき審査会が公平公正に実施されている。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	☒ 影響有 障害者総合支援法に基づくものであり、障がい者が福祉サービスを受けられなくなるので、廃止・休止はできない。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む））
	（他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名
	☒ 余地がない 他に類似事業はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
☒ 削減余地がない 月1回審査会を開催しているが、開催回数を減らすことによりサービス利用の開始時期が遅れ、福祉サービスの低下につながる。また、最小限の人員で対応しているので、事業費、人件費とも削減することはできない。	
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
	☒ 公正・公平である 障害者総合支援法に基づき実施されているので、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	審査会委員の慎重な審議により、障がい者の方に個々のニーズにあったサービスの給付がされている。サービスを受けたい方が年々増加している。																								
③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																									
⇒																										
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☒ 現状維持		<table><tr><td colspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 ⑦																								
		コスト削減優先度評価結果 ⑥																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 ☒ A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 ☐